

体力年齢をチェック

6月28日(土)、サンアリーナさんで、体力・運動能力調査を行いました。

参加者は、20mシャトルランや上体起こしなどを行い、中には学生以来に実施する種目もありました。体力の低下を実感する場面もありましたが、家族や友人と一緒に楽しみながら自身の体力の現状を確認しました。



明るい社会づくりを目指して

7月1日(火)、薩摩保護区保護司会と薩摩川内市更生保護女性会が、内閣総理大臣および鹿児島県知事からの「社会を明るくする運動」のメッセージを市に伝達し、互いの連携を確認しました。

これは犯罪のない明るい社会を地域ぐるみで目指すための運動で、これからも犯罪や非行のない明るい社会づくりを進めていきます。



3つの競技で熱い戦い

7月6日(日)、祁答院体育館で、第68回祁答院地域市民体育大会を開催しました。

300人を超える地域住民がソフトバレー、グラウンドゴルフ、剣道競技で熱戦を繰り広げました。天気にも恵まれ、地域のつながりを深められた大会となりました。



【情報提供：祁答院地域スポーツ協会】

「まちの話題」に投稿ください。

まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。

投稿方法

- ①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
 - ③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚~3枚
- を添えて、秘書広報課までメールで投稿ください。
✉ koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

桜色のキャラバンカーが駆け抜ける

7月3日(木)、東京2025デフリンピックのキャラバン隊が表敬訪問しました。

デフリンピックは「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」で、11月15日(土)から東京都で開催されます。日本では初の開催で、100周年の記念となる大会になります。本市企業からも女子バレーボールの代表選手が選出され、市長は選手の活躍を期待して応援のエールを送りました。



「川の日」に水辺で乾杯

7月6日(日)に平佐リバーパークで、7月7日(月)には川内川大小路みらい公園で、水辺で乾杯 in2025を開催しました。

水辺で乾杯とは、国土交通省が制定した7月7日の「川の日」に、水辺空間の活用を盛り上げるためのイベントです。全2日間で計90人が飲み物を持ち寄り、川内川に向かって午後7時7分7秒に一斉に乾杯を行い、楽しいひと時を過ごしました。



救急医療体制について考えよう

9月9日は救急の日



問合せ／市民健康課地域医療Gすこやかふれあいプラザ内
(22) 8848

厚生労働省と総務省消防庁は、救急業務および救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を「救急の日」と定めています。

本市でも「救急の日」に合わせ、川内市医師会の協力のもと、市民公開講座を開催するなど、さまざまな取り組みをしています。

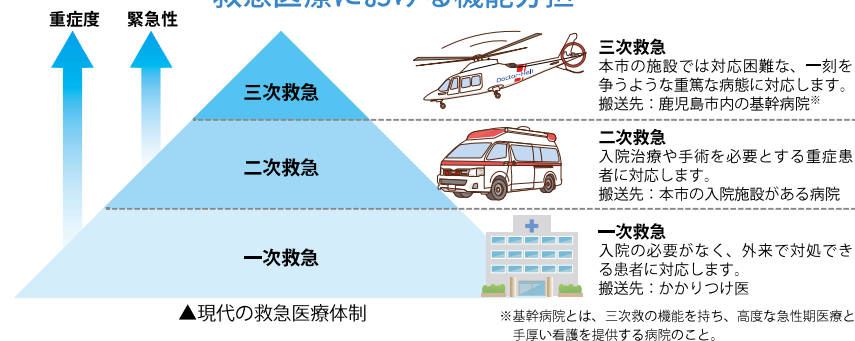
今回は緊急時の医療体制を紹介し

■休日・祝日夜間(一次)当番医制度について

休日・祝日の当番医は、急な病気やケガをした方が対象で、入院の必要がなく、外来で対応できる患者(一次救急)のためのものです。

また、一次救急患者のための夜間当番医は23時までの診療です。ただし、必ずしも専門医ではなく、あくまでも応急的な処置になりますので、翌日以降にかかりつけ医などの受診をお勧めします。**23時以降は「入院診療を必要とする重症患者(二次救急)の医療を確保する」ためのものです。**

救急医療における機能分担



病院受診を迷った時

- **いつでもドクター**(市内在住の妊婦、未就学児のいる世帯対象)
- ※詳しくはホームページをご確認ください。

- **#8000**(鹿児島県小児救急電話相談)
 - **#7099**(米盛病院電話相談)
- に相談ができます。



▲いつでもドクター

こんな時はすぐに救急車！

- **15歳以下の子ども**
唇の色が紫、激しい咳や呼吸が苦しそう、手足の硬直、食欲がなく意識がはっきりしない、頭を痛がってけいれんがあるなど
- **大人**
顔半分が動かしにくくしびれる、ろれつが回りにくくうまく話せない、急な息切れなど

救急医療体制を守るためにも次のことを心掛けましょう

- ① **かかりつけ医を持ち、昼間に受診しましょう**
 - ② **やむを得ず昼間に受診ができない場合などは、必ず23時までに受診しましょう**
- ※23時以降は急患かつ重症患者に限ります